

事務所ビル空調に氷蓄熱システムを採用

重電機器などを製造するこの工場では、CO₂削減等の環境保全活動に積極的に取り組んでおります。また、環境問題とは別の課題として、この工場では夏季の冷房使用時に最大電力が発生するため、その抑制策について検討がなされてきました。

この二つの課題の解決策として、工場および事務所棟の空調に氷蓄熱空調システム（個別分散型エコ・アイス）を導入しました。

このシステム導入により、CO₂排出量削減および一次エネルギー消費量が削減でき、環境面・機器効率面で改善が図れたとともに、もう一つの課題であった夏季冷房使用時のピーク抑制にも寄与しました。

改善効果

- ピークシフト(最大電力抑制)効果：200kW
- CO₂排出量削減量：約10%(GHPと比較)
- 一次エネルギー消費量削減量：約4%(GHPと比較)

設備概要

- 熱源機能力： 28kW × 11 台
35.5kW × 12 台
45kW × 7 台
- 氷蓄熱槽： 1.2m³ × 4 基
1.7m³ × 20 基
2.6m³ × 6 基

システム図 (事務所棟)

